

評価項目	評価基準	様式	配点
1 技術点			
1 構築業者に関する要件			
(1) 業務に対する基本的な考え方について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書を理解し、本業務に対する基本的な考え方や実施方針を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の災害での経験を生かした提案が示されているか。 	-	10
(2) 構築時における実施体制について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年の実績を示すこと。(最大5件) ・業務を確実に履行するための責任分担、実施体制及び業務責任者(プロジェクトマネージャー)の実績等を示すこと。 ・業務責任者について 過去10年の実績を示すこと。(最大10件) 同種同規模業務を優先的に示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令システム及び消防救急デジタル無線設備の構築実績が示されているか。(消防機関名・構築年度) ・業務責任者(プロジェクトマネージャー)の実績等が示されているか。 ・各業務管理者(プロジェクトリーダー、工事責任者等)が体制図に示されているか。 ・品質を確保するための体制となっているか。 	<p>別途、様式第6号業務実施体制及び技術者調書を添付</p> <p>※各様式は頁数に含まない</p>	10
(3) 構築におけるスケジュールについて	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令システムの運用開始までのスケジュールを示すこと。 ・スケジュール設定の意図を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期限までに、無理なく確実に指令システムの運用が開始できるスケジュールが示されているか。 ・指令システム及び消防救急デジタル無線設備更新に伴う運用制限を軽減するための工夫があり、構築スケジュールの短縮に係る提案があるか。 ・品質を確保するための試験調整期間及び内容が十分であるか。 	<p>別途、業務実施工程表の添付を可とする</p> <p>※業務実施工程表は頁数に含まない</p>	10
2 システムの移行に係る要件			
(1) 現行指令システムからの安全な移行について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行指令室と同一場所へ新指令室を設置するにあたり、新指令システムに移行する手順を示すこと。 ・消防本部・署所・車両においても、新指令システムに移行する手順を示すこと。 ・指令室構築時の併設について機器の仮設置箇所が分かるレイアウトを提示すること。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設期間中における消防業務への影響や制限事項を最小限とする対応方法が示されているか。 ・安全・確実・円滑に移行する手順が詳細に示されているか。 	-	20

高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備業務委託

評価項目	評価基準	様式	配点
(2) データ移行の考え方及び移行方法について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行指令システム等からのデータ移行手順及び作業内容を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防職員と受託者の役割分担が明確に設定されており、消防職員の負担がかかる部分が示され、その軽減が考慮されているか。 ・移行されたデータの正確性を保証できる提案があるか。 	-	20
3	セキュリティに係る要件		
(1) セキュリティ対策について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務におけるセキュリティ対策を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティに係るリスクが示され、対策等の具体的な手法が示されているか。 	-	10
4	システムの機能に係る要件		
(1) 機能の実現について	<p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書記載の機能について、実現方法が示されているか。 ・必須機能が全て実現できるか。（必須項目が一つでも対応不可の場合はE評価） ・要望機能が標準機能にて実現できるか。 ・仕様書記載の機能が実現できない場合は、代替案が示されており、かつ優れた内容であるか。 	様式第7号	10
(2) 指令業務の迅速性・確実性・効率性について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令業務の迅速性・確実性・効率性を資する機能について示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・119番通報受付から出動指令までの手順が迅速かつ効率的に行えるよう十分に提案されているか。 ・事案管制、現場活動支援等、指令センターと現場における情報共有・連携が迅速かつ確実に実施できる仕組みが示されているか。 ・その他、効率的に指令業務が遂行できる工夫があるか。 	-	50

高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備業務委託

	評価項目	評価基準	様式	配点
	(3) 大規模災害時等の対応等について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害が発生した場合、災害状況及び活動状況を把握できるような手法について示されているか。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輻輳モードへの切替イメージが提案されているか。 ・大規模災害時等において、消防本部、現場及び総社市との間で必要な情報が整理されており、それを効果的にリアルタイムで有効活用できる工夫がなされているか。 ・消防本部作戦室において実装可能な機能とその運用について提案がなされているか。 	-	50
	(4) 指令室での業務が困難になった場合の業務継続について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令室での業務が困難になった場合の指令業務の継続運用について提案がなされているか。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害における、新指令システム装置類への影響について示されており、それを最小限とする工夫がなされているか。 ・指令室での業務が困難になった場合の指令業務について、制限事項が整理されているか。また、制限事項への対応方針が示されているか。 	-	10
	(5) 消防OAシステムについて	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務効率の向上が図られるものとなっているか。 ・OA化された情報と指令システムの相互連携による指令管制機能の強化が図られるものとなっているか。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サブシステム間で入力内容、記載内容等が整合できるシステム構成であるか。 ・現場において迅速かつ確実に必要な情報を入力及び参照できる機能が提供されているか。 	-	20
	(6) 消防救急デジタル無線システムの構築について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防救急デジタル無線の構築にあたっての構築手法や更新による機能強化点等について示すこと。 ・無線基地局構成を変更を提案する場合は、具体的な手法、メリットデメリット等を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年4月1日から運用開始できるような提案がなされているか。 ・県防災行政無線及び多重無線を活用した無線回線ネットワークについて提案がなされているか。 ・無線局登録作業等の事務的な労務負担を軽減する提案がなされているか。 	-	20

高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備業務委託

評価項目	評価基準	様式	配点
<p>5 性能に係る要件</p> <p>(1) システムの性能について</p>	<p>・仕様書に記載の性能要件を示しているか。</p>	<p>様式第8号</p> <p>※様式第8号性能要件表は頁数に含まない</p>	<p>10</p>
<p>6 システムの信頼性に係る要件</p> <p>(1) 信頼性要件について</p>	<p>☆提案依頼事項 ・各装置の障害等を考慮した、冗長化、リスク分散等について示すこと。</p> <p>☆評価基準 ・ネットワーク機器、通信系装置、サーバ装置等の各装置の障害等を考慮した、冗長化、リスク分散等について示されているか。</p>	<p>-</p>	<p>10</p>
<p>7 システムの据え付け調整に係る要件</p> <p>(1) 指令センターのレイアウトについて</p>	<p>☆提案依頼事項 ・指令室、機器室のレイアウトを提示すること。</p> <p>☆評価基準 ・各指令台から効率よく指令業務が実現できる工夫が提案されているか。 ・次期システム更新等を考慮した機器室レイアウトになっているか。</p>	<p>※レイアウト図の別添を可とする</p>	<p>20</p>

評価項目	評価基準	様式	配点
<p>8 経済性に係る要件</p>	<p>(1) システムの維持管理経費の低廉化について</p> <p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴社推奨の保守水準を示すこと。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本システムの運用保守費用を軽減するための本業務における対策について明確かつ具体的に示されているか。 ・ 運用開始から10年間に定期的に更新が必要な有償交換部品が明確かつ具体的に示されているか。 ・ 運用開始から10年間に更新が必要な装置類が明確かつ具体的に示されているか。 ・ 年間保守費及び中間更新費を低廉化する方策について示されているか。 ・ ネットワーク回線の選定等、安定性とランニングコスト低廉化を両立するための工夫がなされているか。 ・ その他、10年間のシステム継続使用について提案されているか。 ・ 外部委託サービスを実施するものについては、その費用又は安価にするための方策について具体的に提案されているか。 	-	10
	<p>(2) システムの拡張性及び変更への対応について</p> <p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システムの拡張性及び変更への対応について提案を求める。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防業務を取り巻く環境変化に柔軟に対応できる提案となっているか。 ・ 指令音声等の軽易な変更は、職員により容易に行えるものとなっているか。 	-	10
<p>9 研修等に係る要件</p>	<p>(1) 職員向け操作研修、操作習熟について</p> <p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員向け操作研修、操作習熟について提案を求める。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ システム稼動前後の操作研修習熟度向上について示されているか。 ・ 異動等で操作に不慣れな職員に対してのサポート等が、安定的に行えるよう十分に提案されているか。 	-	10

高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム整備業務委託

評価項目		評価基準	様式	配点
10	運用・保守に係る要件			
(1)	保守体制について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守体制について提案を求める。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防業務の緊急性及び重要性を理解し、恒常的な保守体制の維持に関する考え方が示されているか。またその具体的な方策が示されているか。 ・24時間365日の運用を考慮した運用保守体制が明確に示され、運用保守業務を遂行するために十分な体制(拠点を含む)が確保されているか。 ・保守員の想定駆け付け時間等について、根拠も含めて示されているか。 ・点検等の保守業務について、運用に影響を与えないような配慮がなされているか。 	-	10
11	その他提案			
(1)	その他提案について	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等記載機能以外で消防業務に適した提案を求める。 <p>☆評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追加提案は、消防業務において実用性かつ現実性のあるものとなっているか。 ・提案内容無し又は現行運用において実用性の低いものであってもD,E評価とはしない。 	-	30
技術点合計(1~11)				350
2	価格点			
	初期導入費用	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新消防指令システム及びデジタル無線システムの構築に必要な費用について、提示すること。 	様式第9号	100
	保守費用等	<p>☆提案依頼事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始から10年間に必要な下記費用について、参考見積として提示すること。 ①新指令システムの保守費用 ②有償交換部品の費用 ③中間更新に係る費用 	様式第10号	50
価格点				150
合計				500